

【かな箸づくり】

H27ver.

内容

大工道具でおなじみの鉋（かな）を使い、角材から檜（ひのき）箸を加工します。自分の手のサイズに適正なサイズにすることもできます。

活動前の準備

①指導者をつける「直接指導」と団体が独自で行う「自主活動」のどちらかを選択する
活動計画書に講師依頼の有無をご記入ください。

- ・「直接指導」の場合、材料費にプラスして指導費（8,000円）が必要となります。
- ・「自主活動」の場合、入所後から活動開始までの間に職員からレクチャーを受けていただきます。

当日の流れ	主な内容	これらを実際に行う担当者・指導者	
		直接指導の場合	自主活動の場合
道具の準備	鉋・焼きペン・延長コードなど、活動で使用する道具を研修室に準備します。 机の配置なども活動しやすいように調整します。	交流の家職員	交流の家職員と 団体の担当者 ※道具の数や使い方、活動の進め方などを確認します
箸づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 檜を削って箸の形にする ・ 焼きペンで模様をつける ・ 油で防腐処理をする 	交流の家職員か 研修指導員	団体の担当者
部屋の清掃	使用した研修室を清掃し、机を元の状態に戻します。	「箸づくり」を担当した指導者と参加者	団体の担当者と 参加者
片付け	使用した道具を片付け、部屋の清掃が完了しているかチェックします。	団体の担当者が立ち会い、交流の家職員が確認した後、道具を片付けて終了です。	

②材料を申し込む

「教材申込書」（※利用ガイド…6その他の情報（5）提出書類様式 参照）に記入し、利用日1ヶ月前までにファックスにて食堂へ申し込んでください。

③「打ち合わせシート」を提出する

来所日までに交流の家ホームページから「打ち合わせシート」をダウンロードし、必要事項を記入しておいてください。持ち物や服装などもご確認いただけます。なお、道具の関係上、一度に70人以上での実施ができませんのでご了承ください。

④入所後の打ち合わせ

ご提出いただいた「打ち合わせシート」をもとに交流の家の職員と活動前の最終確認をしていただきます。

箸づくりの工程 自主活動の際にご活用ください。

<1グループ(6~8人)分>

- かな 1台
- 木づち 1本
- 治具 1台
- 滑り止めマット 1枚
- クランプ 2個
- 横木 1本
- のこぎり 1本
- 塗料を入れる容器 1個
- バーニングペン(班数分)
- 箸サイズ表 1枚

※上記の道具は交流の家で12グループ分の用意がございます。

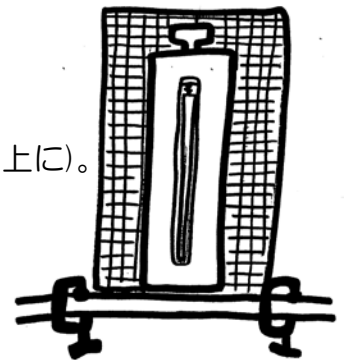
<手順>

① 箸の端側面の2面に【1、2】の番号を記入する。



② 横木をクランプで固定し、治具を滑り止めマットの上に置く(つまみを上)。

③ 箸を治具にセットする(箸をカットした部分も治具にセットする)。



④ カナで箸をけずる(2面のみ)。

⑤ 自分の手の大きさにあわせ、箸のサイズをカットする。(箸サイズ表参照)



時間がかかるので、この⑤の工程は省略することもできます。

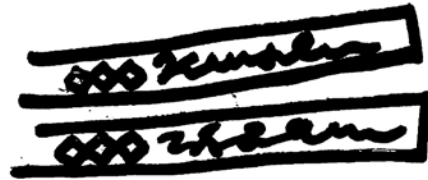
⑥ ヤスリで面取りをする。



⑦ バーニングペンなどで、模様をつける。

※やけど防止のため、軍手を着用しましょう

⑧ 塗油をぬりこむ、ひたすら磨けば完成!



<ワンポイントアドバイス>

自分で作った箸なら自然に愛着が生まれ、ものを大切にする心を育てられるようになります。実施方法は交流の家職員がご相談に応じます。